

京 都

丹波・丹後

舞鶴支局

〒624-0854
舞鶴市円満寺100の9
TEL0773(76)4000
FAX0773(76)5240
maiduru@mainichi.co.jp
【京都支局】
TEL075(211)3151
FAX075(241)2152
kyoto@mainichi.co.jp

【通信機関】
福知山 0773(27)5584
宮津 0772(22)2545
京丹後 0772(62)0423
亀岡 0771(22)2037
【広告のご用は】
075(213)3461
【販売のご用は】
0120-468012

キーワードは協力

京丹後で若い農業者の集い

九条ネギ「こと京都」山田さん講演



京丹後市内の若手農家が農業の将来を話し合う「若い農業者の集い」が26日、京丹後市

の丹後あじわいの郷で開かれた。カットした九条ネギで3億円以上売り上げる「こと京都」

代表取締役、山田敏之さんが「わたしの農業」をテーマに講演。写真。企業の参入で競争激化を予想し、地域で力を合わせた農業の必要性を訴えた。

丹後地域農業士会などが主催し、30人の若手農家が参加した。山田さんはアパレルメーカーの営業マンだったが、95年、33歳の時に京都市内で農業の世界に入った。ラーメンのチェーン店に

営業をかけるなど販路を開拓。養鶏、ケーキ販売にも手を広げ、昨年の売り上げは3億3400万円。現在は年商10億円を掲げ、新工場建設を手がけている。

これからの農業のキーワードは「協力」と指摘。地域の農家が力を合わせてグループとして存在感を高める必要があると述べた。

この後、宮津市日置の吉田陽一さん、京丹

後市大宮町の中山秀雄さん、同市丹後町の野木久聖さんが活動報告。この中で、野木さんは若手農家8人で作る「百姓一揆」を紹介。農家同士がつながりを深め、共に活動することの大切さを語った。

【塩田敏夫】

【塩田敏夫】

若い農業者の集い

日時 平成22年2月26日(金)
 場所 丹後あじわいの郷
 参加者 丹後の農業青年29名(宮津市2名、
 京丹後市21名、伊根町3名、その他3名)
 指導農業士3名
 共催 農業士会、丹後農業改良普及センター



に売メにし1れ場専家レ山京のして名集
 。上ン加。た6るに作でル田都農講た。大い今
 卵を店工。0ネ通に就メ敏「業演はに農には
 や伸にし次0ギい切農ーカさの生はに業青4
 スば営てに万を、りしてカーを。取人都市最年
 ウして業東カ円研も替かから辞一締一伏多目
 イてに京ツま究もえかからネめア役こ見が参の
 |2行ラトでし高た。ネギ成売市ギ実パのと区り加2とな
 店億き、|行ラトでし高た。ネギ成売市ギ実パのと区り加2とな
 円、|行ラトでし高た。ネギ成売市ギ実パのと区り加2とな

がでう農山
 あり家と田
 ましたこれと社
 。とから長
 いは合知から
 。メ協合知から
 ッカ合知から
 セ力合知から
 ーの合知から
 ジ代の合知から



多を「こを多り力指農克ととう対展るでの
 く「立しちをくまがし家服弱ががしでき開は経
 寄とてつで換、したキてとしてみ大事たいの稼年
 せ前てか見し交した。ワール。こり、自かでお億
 ら向勉りら合流。初。う。弱、分え分親で金
 れき強とれ姿では参ド。う。弱、分え分親で金
 ましなをしましあ名者とはは周み強るがも事超
 た。想した目。あ名者とはは周み強るがも事超
 が標。ち刺も語協目辺をみこど反業え在



丹後管内の指導農業士から多くの食材を提供していただきました。ピザや餃子、シチュー、スイートポテトとして食されました。



吉田さんは落ち着いた語り口でした。

宮津市日置
吉田陽一さん

『ストックの八重鑑別に ついて』

ストックの花は八重咲きに商品価値があるが、出芽時に八重率は55%のみ。子葉が大きく生育の早いものを残す方針で、播種後3回に分けて間引き試験をしたところ、播種後1週間+2週間の2回鑑別が最も成績が良かった。



熱く語る中川さん。

京丹後市大宮町
中川秀雄さん

『丹後の農業が黄金時代になる時を考えて』

「海外で食料を食べれない人がいるなら僕は農業をしよう」と就農した。僕たちがもっと消費者にアピールすべきであると考えて京都市内に出かけて対面販売をしている。お客が買いやすい値段や商品を考えて。待っているのではなく、自分らで売りに出かけて行くことが大事。みんなも一緒にやりませんか？



百姓一揆の会長の日方さん(左)と野木さん(右)の良いコンビ。

京丹後市丹後町
野木久聖さん+日方洋さん

『108+1』

2008年に6人で青年グループ「百姓一揆」を設立。トウモロコシを栽培し、祭で焼きトウモロコシにして売ったり、温泉で夕市をするなど、現在8人のメンバーによる活動が地域で認知されてきた。お互いにライバルで仲間。もっと人を集めて活動を広げたい。